

2022/05/30 (月)

朝の礼拝

聖書 ローマの信徒への手紙 12章15節 (新約聖書292頁)

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

愛のトライアングル

英和のフォーマルな卒業式や入学式を別として、英和のイベントはスタディツアー、体育祭、英和祭、そして学校クリスマスの四大イベントではないかと思います。今週は体育祭、汗と涙の、喜びと感謝の体育祭です。

今、読んでいただいたローマの信徒への手紙を書いたのはパウロという伝道者です。彼は地中海沿岸を三回伝道旅行で回り、最後エルサレムからローマまで裁判のため護送されます。パウロは生涯大旅行を四回しました。

ローマの獄中でパウロはこの生涯最後の手紙を書きました。理解するのは難しいです。ところがよく読み進めていくと、実はパウロは難しいことを言っているのではなく、神様への感謝と讃美を証ししていると気づきます。

人生という旅で喜びの時も、悲しみの時も神様が共におられたということです。私とあなただけではない、神様も共に喜び、共に泣いて下さった。愛のトライアングルだったので。だから神様への感謝と讃美なのです。

(しばらく黙祷しましょう)

どんな時でも私たちと共にいてくださる主よ、中間テストも終わり、単元テストも終わろうとしています。どうか与えられた結果と向き合い、新たな目標へ向かって一步一步導いてください。今週は体育祭を迎えます。英和生自身が英和生のために体育祭を作り上げていきます。どうか共に汗を流し、あなたが共におられる喜びと感謝に与らせてください。そしてどんな時にもあなたに愛され、隣人を自分のように愛する喜びへと導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン